

# 市民アンケート調査の結果を お知らせします

市は、中心市街地地区（宮古駅南側）の拠点施設整備に関する市民アンケート調査を実施しました。調査にご協力いただき、ありがとうございました。

調査は「現在の市庁舎の利用状況」や「新しい施設の整備」に関する15項目について行いました。その主な結果をお知らせします。

この結果は、基本計画（案）の検討を進める基礎資料として、計画に反映させていただきます。

問い合わせ 市企画課市街地施設推進室（☎9089）

## 調査（アンケート）の概要

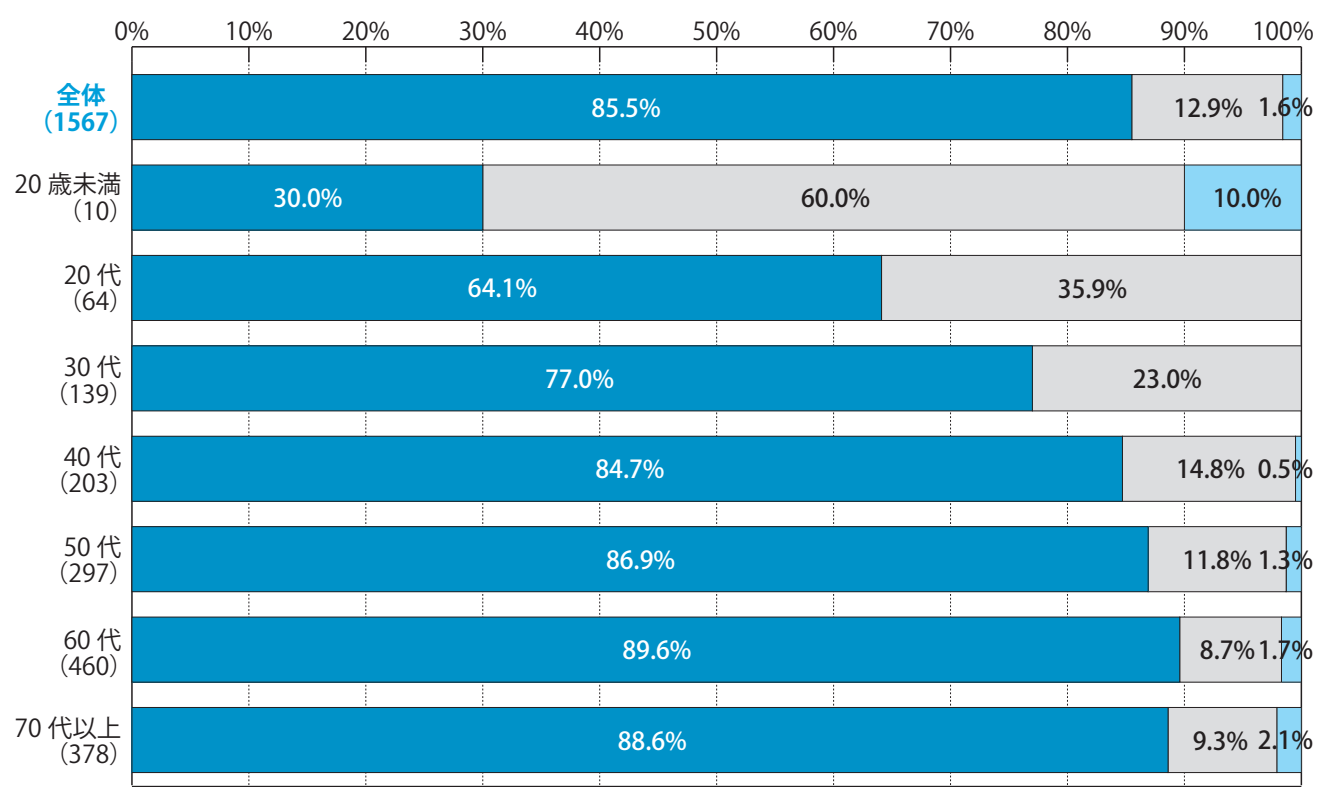
- 調査期間 8月15日(金)～9月1日(月)
  - 調査対象 ①全世帯（8月1日現在、2万4261世帯）、②来庁者（本庁舎、各総合事務所・出張所の住民窓口）
  - 回収数 ①1056世帯（回収率4.35%）、②511人
- ※詳しい結果は、市企画課（市役所4階）、各総合事務所・出張所、市立図書館、また市ホームページで閲覧できます

### 整備計画の認知度

市が現在抱えているさまざまな課題を解決するため宮古駅南側で「拠点施設」の整備を検討していることについて、「このような計画があることをご存じでしたか？」という問いへの回答結果は【図1】の通りです。

拠点施設の整備計画について、「知っていた」と答えた人が全体で85.5%と認知度は高く、おおよその傾向として、年代が高くなる

【図1】整備計画の認知度（年齢別）

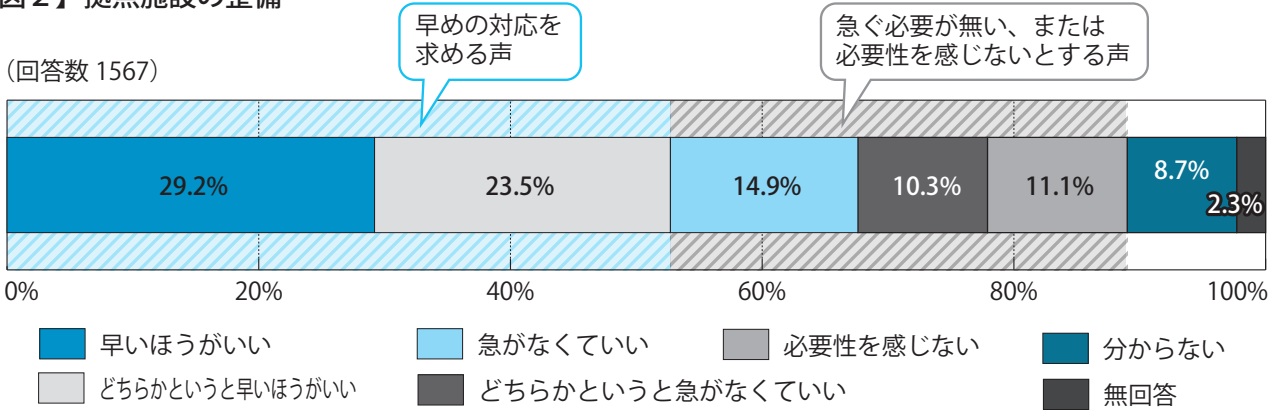


※（）内は回答数

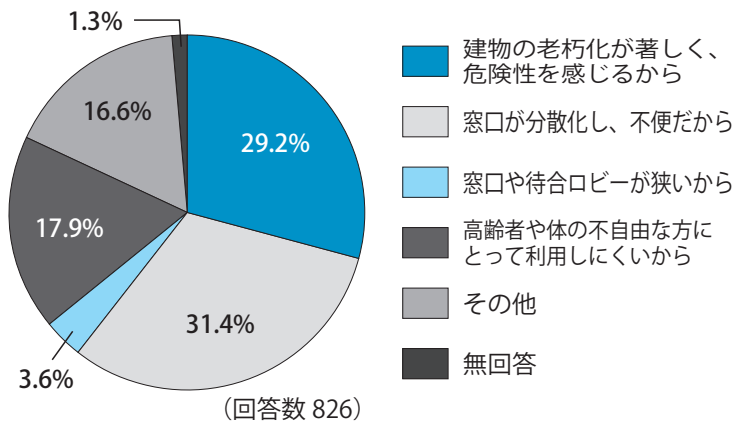
■ 知っていた ■ 知らなかった ■ 無回答

【図2】拠点施設の整備

(回答数 1567)



【図3】早めの対応を求める理由

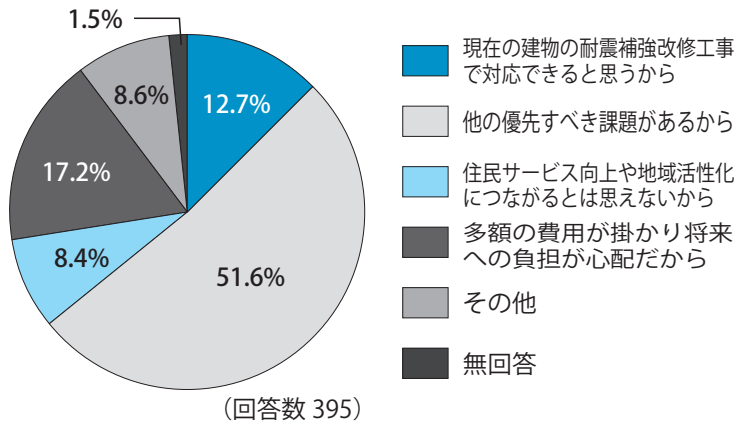


整備の時期などについて「どのようになっていますか?」との問いへの回答結果は【図2】の通りです。

整備時期など

につれて認知度は高くなっています。しかし「知らなかった」と答えた人が20歳未満で60・0%、20代で35・9%、30代で23・0%となっており、若い世代の認知度が低いことが分かります。

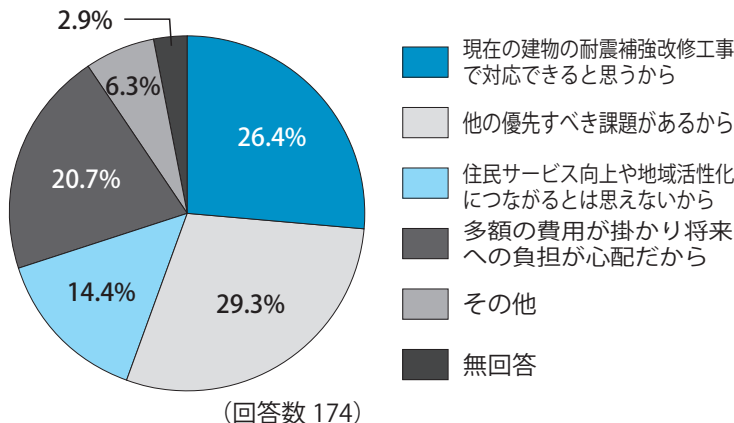
【図4】急ぐ必要がないとする理由



「早いほうがいい」「どちらかという早いほうがいい」と答えた人の割合が52・7%と早めの対応を求める声が5割を超えています。一方「急がなくていい」「どちらかという急がなくていい」と答えた人が25・2%、「必要性を感じない」とした人が11・1%で、これらを合わせると36・3%になります。

▼「早めの対応を求める理由」の内訳は【図3】の通りです。「その他」

【図5】必要性を感じないとする理由



としては「駅から近く交通の便が良い方がよい」「現庁舎は海に近く危険を感じるので早く安全な場所に整備してほしい」などの意見がありました。

▼「急ぐ必要がないとする理由」の内訳は【図4】の通りです。「その他」としては「もっと時間をかけて議論してほしい」などの意見がありました。

▼「必要性を感じないとする理由」の内訳は【図5】の通りです。「その他」としては「移動する場所が

【表1】拠点施設の整備で重要視すること（回答数1567）

一つの窓口で複数の用事を済ませることができる機能	63.4%
交通の利便性、車・自転車の駐車スペース	57.8%
高齢者・障がい者・子供など、誰にでも利用しやすい施設・機能	46.5%
行きたい窓口や部署が分かりやすいレイアウト	45.2%
耐震性が確保された防災上安全・安心できる施設	43.2%
建設・維持管理・更新コストに配慮した施設	21.6%
まち（地域）の活性化への寄与	20.9%
省資源・省エネルギー対策に配慮した施設	20.7%
プライバシーに配慮された相談スペース	17.1%
周辺の街並みや景観に配慮した施設	15.0%
防災教育・防災学習スペース	13.8%
市のシンボル・ランドマークとなるデザイン	11.3%
市民に開かれた議会及び議会活動の場	9.8%
その他	3.2%
無回答	3.8%

子供など、誰にでも利用しやすい施設・機能」と答えた人が46・5%と続いています。「その他」としては「駅との一体化・コンパクトシティの確立」「窓口サービスの向上」「避難場所の確保」などのほか、「必要がない、現状で十分」「仮設の早期解消が先」などの意見がありました。

▼「分からないとする理由」の内訳は、「整備規模や費用が分からないから」と答えた人の割合が44・1%と最も高く、「このことにあまり関心がないから」とした人が26・5%、「まだ議論が不十分だから」とした人が14・0%でした。「その他」としては「工事関係者が不足して復興が進まなくなる」「財政が不安」「場所が不適ではないか」などの意見がありました。

重要視すること

拠点施設を整備する場合、「あなたが求めるもの、重要視することは何ですか？」との問いへの回答結果は【表1】の通りです。（複数回答）

「1つの窓口で複数の用事を済ませることができる機能」と答えた人の割合が63・4%と最も高く、その次は「交通の利便性、車・自転車の駐車スペース」と答えた人が57・8%、「高齢者・障がい者・

必要な施設（機能）

拠点施設を整備する場合、「さまざまな市民活動を応援する新たな施設（機能）」として何が必要だと思いますか？との問いへの回答結果は【表2】の通りです。（複数回答）

年齢別の特徴としては、「子育て支援スペース」が20代と30代で5割前後、「市政情報などを知ることができる情報発信スペース」が40代以降で4〜6割弱（年代が高くなるにつれて増加傾向）、「イベント・展示に利用できるホール・多目的スペース」が20歳未満を除くいずれの世代でも35%前後、「市民が気軽に利用できる屋外の憩いのスペース」が30代と50代以降で30%超という傾向でした。

交通手段

「現在の本庁舎までの交通手段と、宮古駅南側の用地に新たに拠点施設を整備する場合の交通手段」の回答結果は7割【図6】の通りです。

【表2】拠点施設を整備する上で必要な新たな施設（機能）（回答数1567）

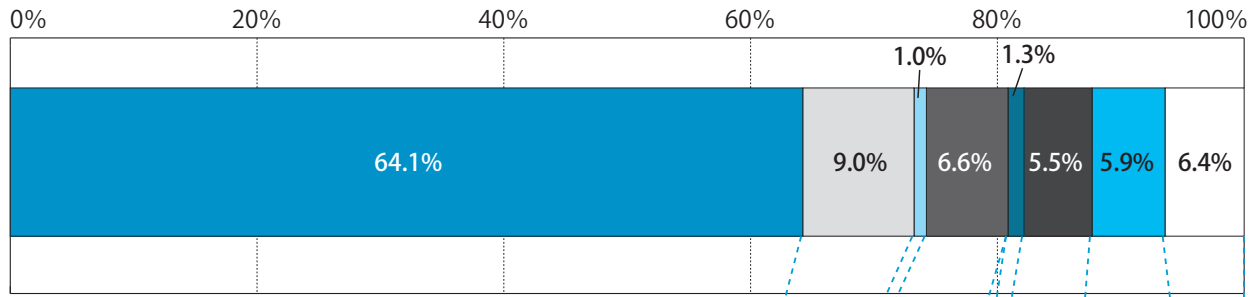
市政情報などを知ることができる情報発信スペース	42.4%
イベント・展示に利用できるホール・多目的スペース	36.9%
市民が気軽に利用できる屋外の憩いのスペース	31.4%
誰でも利用できる談話、相談スペース	30.2%
子育て支援スペース（子ども待合室・授乳室など）	25.0%
市民団体や自治会などの活動・交流スペース	19.4%
市民、児童生徒の学習スペースや図書コーナー	16.0%
芸術文化活動スペース（音楽・創作活動など）	13.0%
軽運動スペース（ダンスや介護予防運動など）	12.8%
その他	4.1%
無回答	7.1%

現在の本庁舎までの交通手段は「自動車（自分で運転）」の割合が64・1%と最も高く、「自動車（家族などの送迎）」を含めると7割以上（73・1%）が自動車を使用しています。

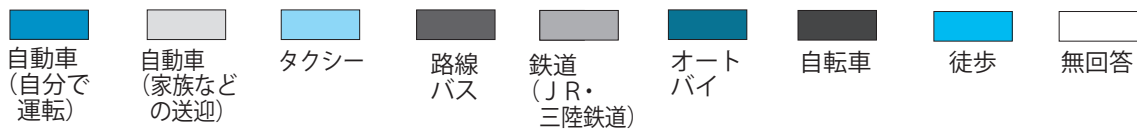
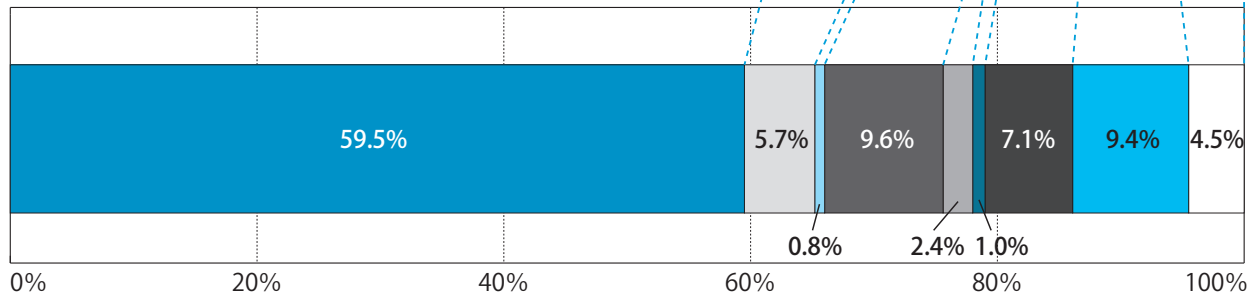
宮古駅南側に施設を整備する場合の交通手段についても同様の傾向が見られ、「自動車（自分で運転）」の割合が59・5%と最も高く、「自動車（家族などの送迎）」を含めると6割以上（65・2%）が自動車を使用すると答えています。「鉄道」「路線バス」「タクシー」

【図6】交通手段

現在の本庁舎までの交通手段（回答数 1567）



宮古駅南側に新たに拠点施設を整備する場合の交通手段（回答数 1567）



現在の本庁舎や分庁舎を解体する場合、「その用地をどのように活用したら良いと思いますか？」との問いへの回答結果は【表3】の通りです。（複数回答）

現在の本庁舎や分庁舎を解体する場合、「その用地をどのように活用したら良いと思いますか？」との問いへの回答結果は【表3】の通りです。（複数回答）

の公共交通を利用する割合は、現在交通手段として利用している人が7.8%であることにに対し、施設を整備した場合は12.8%が利用すると答えており、公共交通の利用が増加することが見込まれます。

【表3】拠点施設を整備し市庁舎を解体する場合の用地活用（回答数1567）

市民が憩える公園・広場	25.5%
市民や観光客のための市営駐車場	18.8%
市民講座やボランティア活動、地域活動などができる生涯学習施設	17.3%
子育てや高齢者などのための福祉施設	17.1%
企業や個人などへの売却、または、民間への賃貸	16.6%
歴史館や資料館などの文化芸術施設	15.4%
レクリエーション・スポーツの活動場所	14.9%
観光案内・交流拠点施設や物産販売施設	14.3%
公共施設の用地として当面は市有のままとする	10.9%
わからない	6.3%
その他	5.2%
無回答	5.0%

年齢別の傾向としては、「市民が憩える公園・広場」がいずれの年代でも上位3項目に入っており、30代が最多で33.8%、40年代以降はいずれの世代でも25%前後、「レクリエーション・スポーツの活動場所」「子育てや高齢者などのための福祉施設」は20代と30代で2割前後でした。「その他」として残す

「道の駅とする」などの意見がありました。

**その他の意見・提案**

拠点施設の整備計画全般について「ご意見やご提案」は、「現状のままでよい、他に優先するものがある」という意見が13.7%（72人）と最も多く、「市民へ広報や説明する機会を増やし十分に議論をして決めてほしい」が6.6%（35人）、「駐車スペースを充実させてほしい」が6.5%（34人）、「渋滞対策などを考えて道路の整備もしてほしい」が6.3%（33人）、「防災に力を入れてほしい」が5.7%（30人）でした。回答数は527人でした。